

## J A さがにおける地場産学校給食への取組について

### 1. 目的

- (1) 「J A さが食農教育方針」における重要な柱としてJ A 内部はもとより、地域との連携により地場産による学校給食を推進する。
- (2) また、将来を担う子供たちの学校給食に地域の安全、安心な農畜産物を提供することは、地場産農畜産物の生産、販売に携わるJ A グループの使命である。
- (3) 平成21年3月に策定した「J A さが地場産学校給食推進方策」に基づき、取組みを進める。

### 2. 数値目標（副食）

平成19年度実績を基礎として、副食については下記の数値目標を設定する。

品 目	平成19年度実績	平成20年度実績	目標（平成22年度）
豆 類	48.8%	33.1%	55%
野 菜	50.0%	57.6%	55%
果 実	55.4%	58.6%	60%
畜産物	72.4%	76.7%	75%
平 均	45.0%	49.0%	

実績および目標数値は、重量ベースである。

平成19年度実績は、佐賀県農林水産商工本部流通課資料より（6月・11月の第3週の調査分）

米飯など主食は県産が79%、牛乳では100%を占めている。

### 3. 基本方策

- (1) 取組みの体制づくり  
推進部署（本所、支部窓口）の明確化  
連携の場づくり
- (2) 食材活用・供給システムづくり  
旬の地場産農畜産物情報の提供  
現行の物流体制を踏襲した効率的、効果的な体制整備
- (3) 生徒・給食施設・生産者の絆づくり

### 4. 取組みの具体的な内容

#### (1) 地場産農畜産物の普及拡大

J A ・直売所・佐賀青果市場、A コープを核とした供給体制を整備する。

地場産学校給食モデル地区を設置する。（3地区）

支部名	地 区
佐城	多久地区
さが東部	鳥栖・基山地区
佐賀みどり	武雄地区

#### (2) 加工品の普及拡大

(財)佐賀県学校給食会や県内学校給食センターへ地場産農畜産物を使用した加工品の普及拡大をはかる。

#### (3) 「連携の場」づくりの実施

本所の「連携の場」づくりは、“食と農”絆づくりプロジェクト会議（事務局：県生産者支援課）の中で検討項目を提案し、協議・検討する。

支部、支所の「連携の場」づくりは、現在、実施されている各地域の学校給食関係の会議等と連携をとりながら進める。未実施の地域については、モデル地区での優良事例等を参考に進めていく。